

ふくしネットワークの発表を終えて

ニコニコデイサービス鶴里：平野勇太

11月17日(金)にニコニコハウスが加盟している愛知・名古屋ふくしネットワークが開催する研修会に参加しました。

内容は各法人が「サービス向上の取組」を発表して参加者が互いに研鑽を深めるというものです。ニコニコハウスからはニコニコデイサービス鶴里の事業紹介を行いました。私自身はデイサービスへ異動してきて2年目とまだまだ半人前なのですが、今回の発表の準備を行う中で改めてデイサービスの「歴史」を知る事が出来ました。発表のテーマは「種別にこだわらないサービス提供の効果」です。

ニコニコデイサービスの最大の特徴は、「高齢利用者と障害利用者が共生している」ことです。障害の方がおよそ半数以上を占めるデイサービス、他では中々見られないことだと思います。

開業当初のニコニコデイサービスは、ご高齢の利用者のみの一般的なデイサービスでした。障害の方を受け入れるようになったのは、約20年前のことで、ふらっと立ち寄られたご近所の地域住民の方Aさんとの出会いがきっかけでした。当時は障害者手帳もお持ちでなかった方です。この方を正式に利用者として受け入れるために手帳取得のお手伝いをして、名古屋市から事業受託を受けました。そしてその約2年後、同じく障害のある二人目のBさんがデイサービスに通われる事となりました。

AさんもBさんもとても個性的な方です。今まで障害の方と関わる機会がないデイサービス職員にとっては、初めての事が多く衝撃も大きかったようです。

AさんBさんに関わっていく中で自然と障害のある方とのコミュニケーションの取り方を学ぶことができました。その経験が活かされて、障害の方の受け入れに抵抗のない、今日のニコニコデイサービスへと発展しました。

障害の方を受け入れるようになってから、ご高齢の利用者さんへのある効果が見られました。ご

高齢の利用者さんは、「人生の途中で介護が必要になった方」です。多くの方が自身の体の状況を受け入れるのに時間が要すると思います。第三者による介護を受け入れるのに抵抗があると思います。そこに、生まれながらに手助けが必要な障害のある方と一緒に過ごすことで、ご高齢の方ご自身の状況を受容する手助けになっているような気がします。

今ではご高齢の方と障害のある方が当たり前と一緒に過ごされているデイサービス。ニコニコハウスの理念でもある「障害を持つ人も持たない人も、互いの人格を尊重しつつ、共に働き、助け合って、それぞれの力を十分に活かしていける場」になっているのではないのでしょうか。

今回の発表では、他にもせんとく班の方の事例や、事業内容についても触れました。会場の皆さんにニコニコデイサービスの魅力を伝える、という点では内容を詰め込み過ぎてしまい、十分に伝えきれなかったと思います。次に発表

の機会があれば、今度はもっとポイントを絞り、ニコニコの強みをアピールしたいと思います。

